

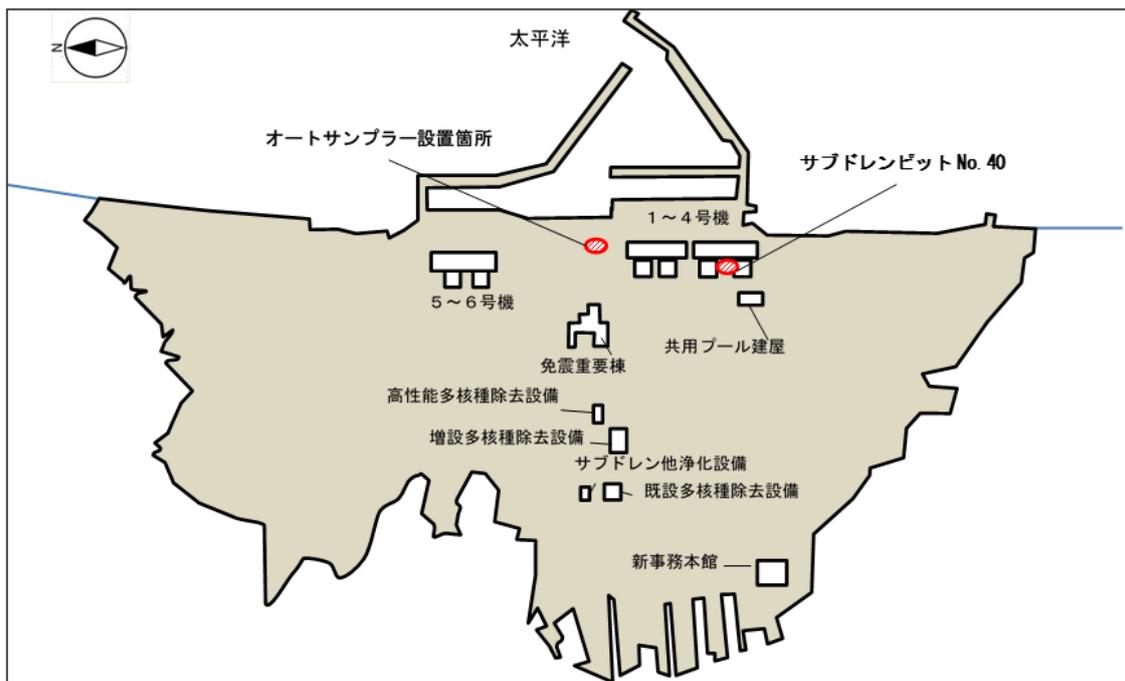
福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年3月19日（金）
- 2 確認箇所
汐見坂周辺、旧事務本館周辺の排水路等
- 3 確認項目
物揚場排水路の簡易放射線検出器における「高警報」に関する流入源の調査状況
- 4 確認結果の概要

3月2日、物揚場排水路に設置されている簡易放射線検出器（以下、「P S F モニタ」という。）において「高警報」が発生し、全ベータ放射能が高い（全ベータ放射能：890Bq/L）排水が観測された事象の原因調査として、3月20日から予想される雨に備え、当該排水路の上流においてサンプリング計画が策定された。今回はその計画の中で数箇所に自動採水器が設置されたため、その状況を確認した。

なお、東京電力による前回の調査（3月3日）ではキャスク保管庫の周辺を重点的に調査したが、3月2日の排水を説明できるような水は確認できなかったため、今回はより上流の流入域を重点的に調査することとしている。

- ・東京電力職員によれば、自動採水器設置箇所はフェーシングした場所に立坑がある場所であり、その立坑の水を採水し分析する。（写真1）
- ・自動採水器は4箇所設置する予定。その他に6箇所ほど手でサンプリングする。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1) 自動採水器の設置状況。
円筒形のものが採水器であり、ホースで汲み上げる仕様。



(写真2) (写真1)の自動採水器
が設置されている周辺の状況。

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。